（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生など雇用条件、職場等で差別しない方針で運用している。経営トップも積極的に関与している。（社員への周知）					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・社長よりハラスメント禁止を社員に徹底している。 ・相談窓口の設置している。 ・就業規則にも明記している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・労働基準法の厳守と改正内容を社内で共有し、三六協定の厳守と長時間労働防止のため時間外管理を徹底している。 ・機械化などにより生産性・効率性を図っている。								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・外国人労働者を雇用し、差別、人権侵害がないことを社員への教育等で徹底している。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・社員に安全教育を実施している。 ・朝礼等で事故防止・危険事項の周知をしている。 ・防護具の使用、注意喚起表示、安全パトロールを実施している。			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・相談窓口を設置している。 ・本人の希望により産業医を紹介している。			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・パートを含め女性中心に多様な人材が活躍できる環境を整備している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・品質・環境マニュアル7.2に基づき、力量を明確にし、「教育・訓練計画表」を作成、教育を実施している。 ・各種技能検定の受験等の推奨、技能五輪に出場を奨励している。 ・各種資格の取得を会社負担で実施している。				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・パートタイム労働法、労働契約法等の改正事項を理解し、順守している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・従業員の健康管理に気をつけている。 ・定期健康診断の実施。会社負担によるインフルエンザ予防接種などを実施している。			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・廃棄物管理基準を定め、運用している。 ・ISO14001で、環境側面として把握している。 ・マニフェストによる管理、報告を実施している。											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・ISO14001環境方針に、重要なテーマとして「省資源の推進」を設定している。 ・電気、ガス、水道等の自社のエネルギー使用量を把握し、省資源を推進している。							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・ISO14001の取組の一環として社内の目標最大電力（2019年度は120kw）を定め、全社で取り組んでいる。 ・ISO14001環境方針に、重要なテーマとして「省エネルギーの推進」を定めている。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	・環境マニュアル6.1.3順守義務に基づく管理及び9.1.2に基づき「環境法規制適合性チェックリスト」により順守状況を評価している。RoHS指令、REACH規制を厳守している。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・ISO14001環境影響表で「生態系破壊」を影響項目とし該当の環境側面について影響評価を実施している。 ・従業員が地域の清掃活動等に参加している。						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・ISO14001環境方針に、重要なテーマとして「廃棄物の適正な分別廃棄およびリサイクルの推進」を定め、運用している。（不良の削減、分別、リサイクル等）												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	・自社の水使用量を把握し、社員へ節水を呼び掛けている。 ISO14001環境影響表で、「水質汚濁」を影響項目とし該当の環境側面について影響評価を実施し、適正な業者に廃棄を依頼している。						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・ISO9001及びISO14001認証取得済み。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・環境方針の社内掲示、HPで公開している。												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・再生可能エネルギーの利用に積極的なテプコを電力事業者として契約している。							7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・ISO14001環境方針に、重要なテーマとして「グリーン購入の推進」を定めている。また、再生コピー用紙ほか再生資源の利用を心掛けている。 ・ISO14001環境影響表で、「資源枯渇」を影響項目とし該当の環境側面について影響評価をしている。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・業務の中で、汚職贈収賄に関与しない様社員に周知徹底を図っている。																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・業務の中で、不正競争行為に関与しないよう社員に周知徹底を図っている。																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・必要な場合は特許を取得する。 ・業務の中で、知的財産の保護について、周知、指導している。								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・社員に対し、個人情報を含む情報管理（適正な取得、漏えい・流失の防止、適正な保管、廃棄等）の徹底を図っている。 ・マイナンバーの適切な管理を実施している。																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・資材の調達の際、紛争鉱物は取り扱わない方針としている。																16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・ISO9001 8.4外部から提供されるプロセス、製品及びサービスの管理に基づく管理の実施。 ・ISO14001で、間接的影響も含めて環境側面・環境影響の把握。外部事業者へ必要な要求事項を伝達している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・ISO9001/14001を通じ、製品の安全性確保を実施している。			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・ISO9001取得済。同マネジメントシステムに基づき製品の品質確保、顧客満足の向上を図っている。									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・ISO14001取得済。同マネジメントシステムに基づき環境に配慮した取組を実践している。（有害な著しい環境影響の軽減、緊急事態への対応、グリーン調達等）						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・長野県SDGs推進企業登録制度の活用も含め企業として社会課題解決に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・地域雇用創出への貢献。 ・ISO14001を通じ、利害関係者のニーズ及び期待、環境側面、環境影響等の把握。				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・従業員の消防団、PTA、地域のボランティア活動等を通じ積極的に取り組んでいる。				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・地域人材の雇用。 ・長野県内企業からの資材調達、外注、受注を積極的に行っている。								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営理念、品質・環境方針、品質・環境目標の掲示、社員の認識教育を実施している。 ・ホームページに経営理念、品質・環境方針を公表している。								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・品質方針、環境方針で法令順守を宣言し、社員にも周知している。 ・ISO14001の6.1.3順守義務、9.1.2順守評価を中心に対応している。																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・品質管理責任者、環境管理責任者の統括のもと、ISO9001/14001のマネジメントシステムによる運用、内部監査、マネジメントレビュー等によるPDCA管理を実施している。																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・ISO9001/14001に基づき、「利害関係者のニーズ及び期待」の特定、ISO9001に基づく9.1.2顧客満足の把握を通じ適切に対応している。																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・ISO9001/14001に基づく「リスク」の特定、ISO14001における環境影響評価、BCPの事業影響度評価等で活用している。																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・ISO9001/14001に基づく内部外部の課題、利害関係者のニーズ及び期待の把握を実施し、必要に応じて「リスク及び機会」或いは「目標」に取り組んでいる。																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・BCP(事業継続計画)策定済。 ・BCPをISO14001の緊急事態対応計画と位置づけ、訓練を実施している。									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・後継者候補がいる。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
・省エネ対応設備の導入	機械更新時に省エネ機械設備を選定する							7.3										

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）